

千葉労働運動

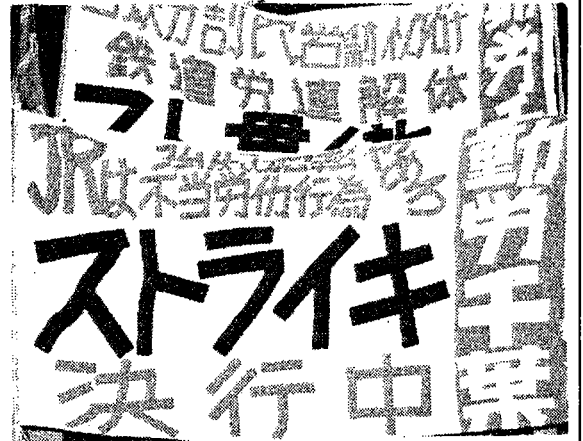
国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.11.10 No. 4689

俺たちを 運転士に署名運動 やりぬこう!



差別は許さない

強制配転者の原職復帰、予科生の速やかな士職登用にに向けた署名運動を、全組合員の力で成功させよう。

次々と「平成採」の者が運転士に登用される一方で、動労千葉の組合員だというだけで、運転士試験に合格してから十二年間も運転士の発令が行なわれないうとか、ベテランの運転士だった者が、運転士を外されて十年以上も塩漬けになったまま置かれ続けているなどという状態は、誰ひとりとして正常なことだと胸をはって言える者はいないは

ずだ。しかしそれがまかり通っているのが現在のJRだ。「不当な差別は絶対に許せない」「こんなことはどう考えてもおかしい」という、職場全員の声を集め当局につきつけよう。

一切の不当労働行為の根絶を!

しかも、差別・不当労働行為は予科生や強制配転問題ばかりではない。とくに、あからさまな昇進差別のなかで、JR東労組の運転士は、多くが三十代で主任職になるにも関わらず、動労千葉の運転士は、ほとんどが

配転者・予科生の 全員集会に集まろう

全支部をあげた署名運動を成功させ、職場から不当労働行為を根絶するために、次のとおり三日間にわたって、強制配転者・予科生・検修関係で2等級の組合員の全員集会を開催します。勤務の都合に合わせて、全員が必ず参加するようお願いいたします。強制配転者・予科生は闘いの先頭に起とう。全組合員が配転者・予科生のくやしさをわがものとして闘おう!

● 十一月二五日(火) 一三時〜

● 十一月二六日(水) 一三時〜

● 十一月二七日(木) 一三時〜 / 一八時〜

★ 場所はいずれも動力車会館です。

私たちは強く要求します!

- 一、運転職場からの配転者を一日も早く運転士に戻すこと。
- 二、千葉県地方労働委員会の命令に基づいて、国鉄当時の運転士試験合格者を一九八九年に遡って運転士に発令すること。

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 松田昌士 殿
千葉支社長 井上健 殿

名	前	年令	職	場

退職時期まで指導職のまま置かれている。

検修職では、動労千葉の組合員には、国鉄入社から十五年以上が経っているながら、未だ2等級の者がいる状態だ。こんなことが許されていいはずはない。

こうした一切の不当労働行為を職場から根絶する闘いの出発点として、この署名運動を全力でおし進めよう!

「結託体制」が 差別の根源だ!

差別・不当労働行為の根源は、

当局とJR東労組の結託体制にある。JR東労組は、一方で当局の手先として悪どい癒着を強めながら、他方では「抵抗とヒューマニズム」などというペテンで組合員をごまかしている。われわれは、当局と手を結んで差別の手先になっている者が、

「ヒューマニズム」などと言って黒を白と言いくるめるようなことを絶対に許さない。最も卑劣な汚いやり方だ。

強制配転者の原職復帰、予科生の士職登用、昇進差別粉砕一切の不当労働行為の根絶は、

動労千葉の最大の懸案課題だ。怒りも新たに、JRとJR総連・革マルの結託体制を打倒するために、全組合員が力を結集しよう。そのためにも、このような差別が現実職場に横行していることについてどう思うのか、ひとりひとりの労働者に訴え、職場全員の署名を集めよう。

